

事業名称	伏見処理場オゾン処理設備整備事業
事業種別	水環境創造事業 水循環再生型
事業主体	京都市
実施箇所	伏見処理場(公共下水道)
実施期間	平成15年度～平成17年度
事業目的	<p>琵琶湖・淀川の水は、約1,660万人の生活用水などとして、高度な水の反復利用が行われている。京都市はこの水系の中流域に位置する大都市として、淀川流域の水循環を良好な状態に維持・回復することに寄与するという観点から、高度処理の導入を積極的に推進している。</p> <p>オゾン処理に関しては、すでに吉祥院処理場において、平成9年度に消毒と色度の除去を目的として導入している。このオゾン処理は、トリハロメタン等の生成能低減や残留難分解性有機物の分解が可能であるばかりでなく、クリプトスポリジウムの不活化や環境ホルモンの低減効果も確認されている。</p> <p>そこで、放流先が宇治川である伏見処理場においてもオゾン処理を導入し、河川事業等と連携し、下流水源の安全性の向上に一層寄与するとともに、淀川水系の良好な水環境の保全や健全な水循環の構築の一役を担うものである。</p>
事業内容	<p>オゾンの処理設備を整備し、処理水を全量オゾン処理する。</p> <p>処理能力 125,000m<sup>3</sup>/日</p>
担当部署	京都市下水道局管路部計画課 tel:075-672-7839

